

市町村名

占冠村

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル

介護給付適正化計画の推進

現状と課題

医療、介護ニーズが高い高齢者の増加が見込まれる中、入院による急性期の治療から、リハビリテーションを含めた退院後の在宅療養に円滑に移行し、切れ目なく適正な医療・介護サービスを提供するためには、地域での医療連携の強化が必要です。

在宅医療・介護サービスを切れ目なく一体的に提供するための体制の構築、地域住民への普及啓発の取り組みなど、医療と介護の密接な連携による支援体制を推進します。

第7期における具体的な取組

介護給付の適正化については、具体的な適正化事業の内容及び実施方法と目標を定め、事業を行うことにより、給付の推進を図ります。

目標（事業内容、指標等）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
地域ケア会議	月1回	月1回	月1回
介護予防事業（お元気さんくらぶ）	週1回	週1回	週1回
認定調査状況チェック	全調査票のチェックを実施		
ケアプラン点検	1件	1件	1件
住宅改修等の点検	全件実地		
医療情報と突合・縦覧点検	北海道国民健康保険団体連合会へ委託		
介護給付費通知	北海道国民健康保険団体連合会へ委託		

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
- 評価の方法
 - 実績による把握

市町村名

占冠村

取組と目標に対する自己評価シート

年度

令和2年度

前期（中間見直し）

実施内容

自己評価結果

課題と対応策

後期（実績評価）

実施内容

- ・地域ケア会議 12回開催し情報共有を行っている
- ・介護予防事業（お元気さんくらぶ）47回延べ584名、緊急事態宣言中は休止していたが、安否確認や脳トレなどの配布を行っている。
- ・認定調査状況チェック 全件（48件）の確認ができた。
- ・ケアプラン点検 3件の点検を行った。
- ・住宅改修等の点検 全件（5件）の点検ができた。
- ・医療情報との突合・縦覧点検 17件
- ・介護給付費通知 3か月に1回発送をし、計191件の発送を行った。

自己評価結果【◎】

地域ケア会議、介護予防事業（お元気さんくらぶ）、認定調査状況チェック、ケアプラン点検、住宅改修等の点検、医療情報との突合・縦覧点検、介護給付費通知ともに目標を達成することができている。

課題と対応策

- ・地域ケア会議 個々の事例については情報共有が図られているが、課題を絞った地域課題解決型ケア会議の実施が必要である。
- ・介護予防事業 要支援者等に対する運動機能向上に関する取り組みを継続して行う。
- ・認定調査状況チェック 基本となる事項を介護支援専門員とともに認定検証しながら介護支援専門員の「気づき」を促します。
- ・住宅改修の点検 高齢者が住み慣れた自宅や地域での生活を継続維持できるよう継続して行う。

- ・ケアプラン点検 自立支援に資する適切なケアプランとするため具体的な目標設定となるよう点検を行う。
- ・医療情報との突合・介護給付費通知 単独での実施は体制整備の観点から困難であり、今後も委託により実施し給付費の適正化を図る。